

カルコーパ配合錠 L100

カルコーパ配合錠 L250

【この薬は？】

販売名	カルコーパ配合錠 L100 CARCOPA COMBINATION TABLETS L100	カルコーパ配合錠 L250 CARCOPA COMBINATION TABLETS L250
一般名	レボドパ Levodopa カルビドパ水和物 Carbidopa Hydrate	
含有量 (1錠中)	レボドパ 100mg カルビドパ水和物 10.8mg (無水物として10mg)	レボドパ 250mg カルビドパ水和物 27mg (無水物として25mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、パーキンソニズム治療剤（レボドパ）とレボドパを脳内に到達しやすくする成分（カルビドパ水和物）の2種類を含んでいます。
- ・ レボドパは脳内でドパミンに変化し、脳内で不足しているドパミンを補うことで、パーキンソン病の症状である手足のふるえ、筋肉のこわばり、動作が遅くなる、歩行障害などを改善します。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

パーキンソン病・パーキンソン症候群

- ・ この薬は体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減した

りすると病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・閉塞隅角緑内障の人
- ・過去にレボドパ・カルビドパ水和物配合剤に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤（現在日本で承認されている薬剤はありません）を使用している、あるいは使用を中止してから2週間以内の人

○他のレボドパ単味製剤からこの薬に変更になった場合は、飲み始める前に、最後にレボドパ単味製剤を飲んだ時間を医師または薬剤師に教えてください。

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師にその旨を教えてください。

- ・肝臓または腎臓に障害のある人
- ・胃潰瘍、十二指腸潰瘍の人、または過去にこれらの症状があった人
- ・糖尿病の人
- ・心臓または肺に重篤な疾患のある人、気管支喘息または内分泌系疾患のある人
- ・慢性開放隅角緑内障の人
- ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人

○この薬には併用してはいけない薬[非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤]や、併用を注意すべき薬（セレギリン塩酸塩など）があります。セレギリン塩酸塩を使用している場合や、他の薬を使用している場合、新たに使用する場合は必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

- ・レボドパ製剤を初めて使う場合

（以下、レボドパ量として換算しています）

	初回量	維持量
1回量	100～125mg	200～250mg
1日量	100～300mg	600～750mg
飲む回数	1日1～3回	1日3回

- ・毎日又は1日おきに100～125mg ずつ増量し、最適維持量を定めます。
- ・1日量として1500mg を超えることはありません。
- ・レボドパ単味製剤からこの薬に変更する場合
(以下、レボドパ量として換算しています)

	初回量	維持量
1日量	それまで飲んでいたレボドパ単味製剤の維持量の1/5量に相当するレボドパ量	600～750mg (1回量200～250mg)
飲む回数	1日3回	

- ・レボドパ単味製剤の使用後、少なくとも8時間の間隔をおいて使用を開始します。
- ・1日量として1500mg を超えることはありません。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常な不随意運動（意思に反して体が動く、手がふるえるなど）、混乱、不眠、吐き気、嘔吐（おうと）、不整脈などの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を長い期間飲んでしていると、急に動けなくなったり、薬の効果が不十分になったりすることがあります（ウェアリングオフ現象やオンアンドオフ現象）。そのような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。
 - ・ウェアリングオフ現象：薬を飲んでいても、急に症状が強くなるなどの変動が認められる現象。
 - ・オンアンドオフ現象：スイッチを入れたり切ったりするように、急に症状が変動する現象で、予測不可能です。
- ・この薬を飲むと、突発的睡眠（前兆なく急に眠り込んでしまう）や傾眠（眠気でぼんやりする）、眼の調節障害、注意力・集中力・反射機能など

の低下がみられることがありますので、この薬を使用中は自動車の運転や機械の操作など危険を伴う作業はしないでください。

- ・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族などの方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


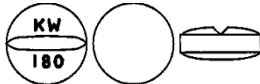
重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
幻覚 げんかく	現実には存在しない物が見えたり、ない音が聞こえたりする
抑うつ よくうつ	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
胃潰瘍・十二指腸潰瘍の悪化 いかいよう・じゅうにしちょうかい ようのあつか	吐き気、嘔吐(おうと)、腹痛、血が混ざった便、便が黒くなる
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸(どうき)や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
突発的睡眠 とつぱつてきすいみん	前兆もなく突然眠る

重大な副作用	主な自覚症状
閉塞隅角緑内障 へいそくぐうかくりよくないしょう	目の前に霧がかかったような感じ、眼のかすみ、頭痛、眼の痛み、視力の低下、充血、吐き気

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、意識が乱れる、意識の混乱、めまい、頭が重い、頭痛
眼	白目が黄色くなる、目の前に霧がかかったような感じ、眼のかすみ、眼の痛み、視力の低下、充血
顔面	鼻血
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、嘔吐（おうと）、歯ぐきの出血
胸部	動く時の動悸（どうき）や息切れ
腹部	腹痛
筋肉	筋肉のこわばり
尿	褐色尿
便	血が混ざった便、便が黒くなる
その他	現実には存在しない物が見えたり、ない音が聞こえたりする、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、前兆もなく突然眠る、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	カルコーパ配合錠 L100	カルコーパ配合錠 L250
形状	割線入り素錠 	割線入り素錠 
直径	8.0mm	11.0mm
厚さ	2.7mm	4.4mm
重さ	170mg	440mg
色	うす紅色	うす紅色
識別コード	KW 177	KW 180

【この薬に含まれているのは？】

販売名	カルコーパ配合錠 L100	カルコーパ配合錠 L250
有効成分	レボドパ カルビドパ水和物	
添加物	トウモロコシデンプン、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、タルク、黄色 5 号	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、黄色 5 号

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共和薬品工業株式会社

(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）